

さつきやま魂

さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさとに貢献する青年の育成

崎山中学校だより
7月2日 第6号
文責 校長 山下



崎山っ子の心を見つめる教育週間

御来校ありがとうございました

6月26日から今日まで、「崎山っ子の心を見つめる教育週間」を実施しました。初日の26日は、保護者や地域の方が来校しやすいうように土曜授業として行いました。また、この日を「心を見つめる日」と設定し、校長講話、道徳公開授業、SNS関連講演を行い、保護者はもちろん地域の方など、多くの皆様や子どもたちの様子を御参観いただきました。

長崎県では、毎年この時期に「いのちを輝かせて生きる、心豊かな長崎っ子の育成」を目的に教育週間を実施しています。道徳の授業では、生徒一人一人が「命の尊さ」について自分自身でじっくりと考え、意見を述べていきました。私からは、教育期間の取組の一つである「あいさつやマナーの向上」を踏まえて、日本の文化でもある「お辞儀」を例にして、「礼儀」について、次のような話をしました。

「礼儀とは『相手を人として尊敬したり感謝したりする気持ちの表れであり、みんなが気持ちよく生活するためにとても大切なこと。』だとわかります。『礼儀正しい人』は、自分も周りの人も気持ちよくさせます。逆に、『礼儀知らずの人』は、周りの人をいやな気持ちにさせてしまいます。大切なのは、相手のことを思いやる心、その最たる行動様式が、『あいさつ』や『お辞儀』ではないでしょうか。『礼儀正しさ』つまり、『爽やかな挨拶をする』『気持ちのこもったお辞儀をする』『自分が使った場所をきれいにする』『くつをきちんとそろえる』

『礼儀正しさ』を身に付けて、自分自身の豊かな心を育ててほしいと願います。」



生徒総会で活発な意見交換!

6月17日、令和3年度生徒総会が実施されました。生徒総会の目的は、一言で言うと、「自分たちの手でよりよい崎山中学校をつくる」ということです。目的達成のために、里中生徒会長をはじめ、生徒会執行部を中心に準備を進めてきました。

当日は、各学級で討議された意見を代表者が堂々と発表したり、その意見に対して、自分の考えをしっかりと述べたりする姿が見られました。特に、初めて生徒総会に参加した1年生の堂々とした発言に驚かされた。2・3年生は、自分たちの経験を踏まえ、先輩として「なるほど」と思う意見を述べていました。私は、リモートで参加しましたが、活発に意見交換がなされ、主体的に活動する雰囲気を感じることができました。今後の生徒会活動が楽しみです。



読み聞かせに行きました!

6月17日、新型コロナウイルスの感染拡大のため5月にできなかった読み聞かせを実施しました。今回は、2年生が朝から小学校へ出向き、全学級で行いました。昨年度の経験を生かし、感情を込めながら上手に行うことができました。



「リモート講話」

現在、事情があつて福岡に行き、在宅勤務をしています。子どもたちはもちろん、保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけして申し訳なく思います。

その間、心を見つめる教育週間講話や生徒総会後の話など、リモートで行いました。初めての体験で、上手にできるか心配しましたが、大きなトラブルもなく実施することができました。画面に自分の顔がどアップで表示されるのはやや恥ずかしいですが、「たまにはリモートもいいかな。」とも思いました。ただ、場の空気とか、雰囲気がよく分かりません。やはり、子どもたちを目の前にして、反応を確認しながら話すのが一番と感じました。

もうしばらく御迷惑をおかけしますがよろしくお願ひします。